

「森林管理の支援に関する連携協定」について ～徳島森林づくり推進機構×とくしま森林バンク×徳島大正銀行～

株式会社徳島大正銀行
令和6年10月1日



徳島県は日本屈指の「森林県」



プロフィール ※R6.8時点

- 人口：686千人
- 面積：4,146km²
- 最高峰：剣山1,955m
- 全面積の**76%が山地**
- 豊富な木材資源を背景に古くから林業が発達

- 明治期に大部分の藩有林を民間に払い下げた結果、**森林の81%が私有林（全国57%）**
- 古くからの植林の結果、スギ・ヒノキなどの**人工林が61%**
- 個人所有の人工林が多いため、**管理放棄や境界の不明確化が大きな課題**

森林整備に対する取組

1.「とくしま協働の森づくり事業」への参画（平成20年9月より）

※「とくしま協働の森づくり事業」：徳島森林づくり推進機構、企業、団体が共同で森づくりに取り組む事業

- ・ 神山町、上勝町の「FAB（Forest Activity Base）とくしま」への参画など、**森林整備活動を実施**

「FABとくしま」の活動概要

■ 神山町の森林づくり（H30.9.8）

場 所：名西郡神山町上分字中津

参 加 者：163名（当行役職員ほか「とくしま協働の森づくり事業」協賛企業・団体のみなさま）

植栽本数：約1,880本（ケヤキ、ヤマザク等）

■ 上勝町の森林づくり（R1.9.1）

場 所：勝浦郡上勝町大字福原

参 加 者：156名（当行役職員ほか「とくしま協働の森づくり事業」協賛企業・団体のみなさま）

植栽本数：約1,400本（スギ）

「とくしま協働のもりづくり事業」におけるCO2吸収量

908.85t-CO2

※平成21年度～令和5年度 累計



2.「トモニの森」の森林育成（平成22年3月より）

- ・ 上勝町旭の共有林を「トモニの森」と名づけ、地域の林業従事者の方々との共同で森林を育成

場 所：勝浦郡上勝町旭字炭の向88-2

面 積：2.37ha

植栽内容：広葉樹 2,805本

スギ 500本

ヒノキ 500本

H22.10



R5.11



「森林管理の支援に関する連携協定」の概要

背景

- 徳島県は全面積の76%が森林であり、森林の94%が民有林かつその大半（81%）が個人所有であることから森林整備が進みにくい状況
- 人工林（スギ・ヒノキ）のうち主伐期（林齢46年以上）を迎えている割合は80%であり本格的な伐採期を迎えている

「森林管理の支援に関する連携協定」を締結(令和4年6月)
徳島森林づくり推進機構×とくしま森林バンク×徳島大正銀行

- 森林整備と遊休森林の活性化を図るためには、「徳島森林づくり推進機構」と「とくしま森林バンク」の事業を徳島県内に森林を所有する皆さまに広く知ってもらうことが必要
→本連携協定にて当行の全店舗（108店舗）で、森林相談の受付を実施

提携内容

- | | |
|-----------------------|----------------------------------|
| ①徳島県内の森林の管理に関すること | ⑤とくしま協働の森づくり事業の推進に関すること |
| ②徳島県内の森林の処分や相続に関すること | ⑥森林に係るSDGs活動の推進に関すること |
| ③徳島県内の森林の整備に関すること | ⑦その他相互に連携協定することが必要と認められる事項に関すること |
| ④森林環境の保全に係る啓発活動に関すること | |

「森林管理の支援に関する連携協定」のスキーム

徳島に森林を保有する法・個人のお困りごとを解決する官・金連携のスキーム

《新たな森林相談窓口に！》



《相談・森林管理の拡充》

(公社) 徳島森林づくり推進機構

○技術スタッフが調査とアドバイス

- ・森林の調査
- ・森林整備の計画づくり
- ・森林管理方法のアドバイス



○遊休森林の活用

- ・協働の森への提供

○協働の森づくりに参加



FAB上勝(徳島大正銀行)の例

(株)徳島大正銀行

本店・各支店

- 地域密着で、山の相談
- 森林のお困り事を各店舗で受付

対象者は個人、法人のお客さま

- ・個人：相続や処分等の時、整備希望の時
- ・法人：遊休資産の活用または処分
：ESG投資の斡旋



お客さまの
森林のお悩み解決！

持続可能な社会の形成
に森林管理で貢献！



《カーボンオフセットと直結》

(公社) とくしま森林バンク

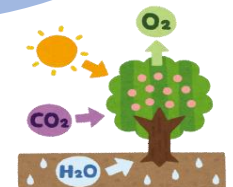
○森林の処分やお預かり

- ・売買、間伐等



○J-クレジットの発行

- ・間伐で生み出される
クレジットを
カーボンオフセットに



GX(グリーン・トランスフォーメーション)推進の相
互連携！

森林管理の支援に関する連携協定

森林管理と森林整備を役割分担



加速する
木材利用
マテリアル
+
エネルギー

「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に貢献

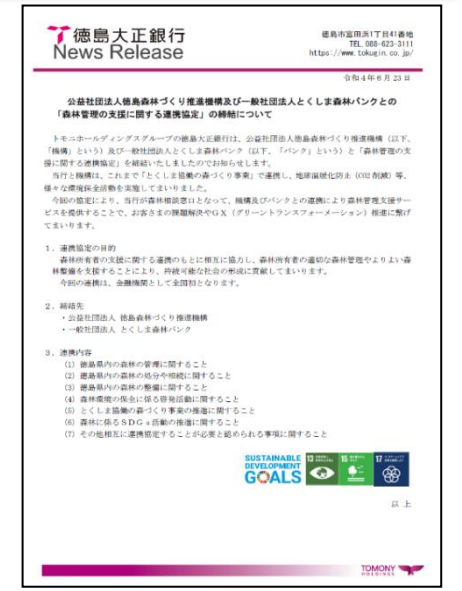
「森林管理の支援に関する連携協定」の成果

【成果】

- 相談件数（R4.6～R6.8累計）
49件　うち管理委託契約（※）1件
（※）とくしま森林バンクが該当森林の管理（間伐等）を10年間実施する契約
- プレス関係
新聞：「徳島新聞」「日本経済新聞」「ニッキン」「林政ニュース」
テレビ：「四国放送」「NHK」

【影響】

- 相談者の声
「このような事業の存在を知ることができた」
「今まで森林の管理に悩んでおり、普段から付き合いのある銀行の窓口で相談ができてよかった」
- 当行役職員の意識
森林保全活動に対する意識が向上



課題及び今後の取組

課題

- 県民の皆さまが、森林整備による脱炭素を進めていくことを『**自分事**』として考えること
- 森林の調査、整備が難しい案件への対応（境界が不明、相続未登記 等）
- 森林整備を担う林業従事者の減少 ※令和2年 林業従事者数：761人（平成2年比 ▲54%）

今後の取組

- 県民の皆さまの『**自分事化**』を進める仕組みづくりが必要

その一助となるため、当行は…

- 脱炭素関連事業、一次産業の活性化事業を行う**銀行子会社**を設立し、森林整備進展に向けた**仕組みづくり**を考えていきます

仕組みづくりを行うためには…

連携している徳島森林づくり推進機構さま、とくしま森林バンクさまに加え、自治体の皆さまとの**連携強化・共創**が必要です